

ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況等一覧(2022年1月現在)

資料1

開設	体制基盤	情報基盤・発信	2021年度予定実施状況										
			委員会	事業	連携								
ESD活動支援センター名称	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称(委員人数) ①実質的センター業務責任者 ②担当窓口	電話回線開設(予定) ウェブサイトを固定IP取得(予定)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数 ④増刷(予定)日・増刷部数	メールマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数	SNS活用 ①種別 (facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロワー件数(種別ごと)	第1回日程 第2回日程 (あれば第3回日程)	地域フォーラム等	その他主要事業	連携予定の組織・団体、ネットワーク等(文部科学省令和3年度SDGs達成のための担い手育成(ESD)推進事業実施団体との連携含む)	その他特記事項等		
北海道地方ESD活動支援センター	①②平成29年9月29日(金) EPO北海道運営協議会(委員11名、オブザーバー4名。令和3年度より一体化)	①久保田学 ②小路楓	なし	なし	①EPO・センター合同 ②令和3年6月 ③4,000部 ④予定なし	①EPO北海道メールマガジンに併設 ②毎週火曜日 ③1,633名	①facebook(EPO北海道と統合) ②982	第1回 5/28(金) 第2回 2/18(金)	・ESD推進ネットワーク北海道地方フォーラム2021 テーマ:持続可能な地域づくりと教育旅行 日時:1/24(月)14:00~16:30 方法:オンライン 内容:SDGs未来都市ニセコ町の取り組みを参考に、地域ESD拠点(三笠ジオパーク、NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト)との意見交換等を予定	・ESD for 2030学び合いプロジェクト 気候変動教育連続勉強会(5回開催、参加者延べ382人) 第6回を2/25に開催予定 ・ESDの活動を支援するアドバイザー派遣 小学校など5件の利用 ・「北海道メジャーグループ・プロジェクト2021」を主幹団体として展開し、全体ミーティングを3月に開催予定。また、その分科会的な位置づけである「ユネスグループ・ミーティング」(全5回、参加者延べ25人)を開催。	・RCE北海道道央圏協議会に参画 ・メジャーグループプロジェクトを主催する、チーム「北海道メジャーグループ・プロジェクト2021」にて、NPO法人さっぽろ自由学校「遊」をはじめ多様なステークホルダーと協働 ・地域ESD拠点連携(国立日高青少年自然の家等)として「北海道アウトドアフォーラム」及び「北海道アウトドアネットワーク」への協力	・依頼に基づき、小学校や高等学校、地域ESD拠点においてESDセンタースタッフがSDGs等に係る講演を実施(4件。今後2件を予定) ・地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業にて、地域ESD拠点(NPO北海道エコビレッジ推進プロジェクト)を支援	
東北地方ESD活動支援センター	①平成29年7月3日(月) ②平成29年9月1日(金)	東北地方ESD活動支援センター企画運営委員会(8名)	①井上郡康 統括 ②鈴木美紀 子/チーフ 小泉照ノ コーディネーター	済	済	①センター専用EPO・センター合同に改定 ②平成30年3月 改定版:2019年10月中に印刷 ③4,000部 改定版:2,000部 ④増刷予定なし	①EPO東北メールマガジンに併設(2019年9月開始) ②2月2回 ③1,200名	なし	第1回 7/13(火) 第2回 2/7(月)	東北ESD/SDGsフォーラム2021 みちのくSDGs in あおもり〜人づくりから広がるSDGsの輪〜 【日時】2021/10/17(日) 【会場】ハイブリッド開催(会場青森市) 【参加人数】125名(会場36名、オンライン89名) 【主催】東北ESD/SDGsフォーラム2021 実行委員会 【内容】 ①対談「ESDやSDGsを青森視点から学ぼう！」 ②ショートプレゼンテーション「あomorの事例に触れよう！」 学校、企業、NPO、学生の取組など青森県内の9事例を紹介 ③全体質疑	●ESD推進・地域研修会(学習会) 【日時】2021/12/14 【会場】ハイブリッド開催(会場青森市) 【内容】中国センターよりSDGsセレクトブックの取組について話題提供をいただき、青森県および東北地方におけるESD活動の推進に向けて意見交換を行った。 ●拠点との連携 ①気仙沼ESD/RCE推進委員会 ESD研修会の共催 ②仙台ユネスコ協会、日本キリバス協会 キリバス×気仙沼 小学校交流事業への協力	・ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム ・山形県教育センター ・秋田県鹿角地域振興局 ・日本環境教育学会東北支部 ・日本青年会議所東北地区協議会 ・東校学館高校(山形県) ・福島県中地方振興局 ・秋田犬ツーリズム 【地域ESD拠点】 ・八戸工業大学第二高等学校(秋田県) ・一般社団法人あきた地球環境会議 ・気仙沼ESD/RCE推進委員会 ・仙台ユネスコ協会	●1/29児童生徒の探究型学習・課題研究発表会(共催) 主催:ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム ●3/5日本環境教育学会支部大会(共催) 主催:日本環境教育学会東北支部 ●山形県教育センター 教職員研修会への協力 9/8専門研修 ESD、SDGsの授業づくり講座 1/18高等学校初年者研修 ●教育旅行に關する相談対応 ・宮城県観光連盟 ・秋田県鹿角地域振興局 ・福島県観光物産交流協会
関東地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月3日(月)	関東地方ESD活動支援センター企画運営委員会(11名)	①島田幸子 ②伊藤博隆、新木寿子	済	済	①センター専用(レポート) ②令和4年3月(予定) ③2000	①センター専用 ②1月1回発行(2017年7月開始) ③1,936部	①facebook ②469人	第1回 6/30 第2回 3月(予定)	・関東ESD推進ネットワーク 第5回地域フォーラム 「多世代で進める、これからのESD for 2030」 日時:令和4年1月30日(日)13:30~16:30+交流会(完全オンライン)	・県域を対象としたESD 推進セミナー 「静岡のSDGs教育&ESD Now! 11/28(日)14:00~17:00 会場:大田区立伊豆高原学園(静岡県伊東市)+Zoom 協力 VISIONARY INSTITUTE 参加者 25名 ＜エクスカーション＞ジオサイト、地域ESD拠点運営施設見学 参加者15名 ・＜教員対象＞高校の探究の時間でSDGsに取り組むにはどうすれば良いかを考える勉強会 8/25(水) オンライン ・地域ESD拠点研修会 開催予定(2月)	【地域ESD拠点】 ・(一社)ESD TOKYO (SDGs文化祭、高校教員向け勉強会) ・チャウス自然体験学校 (2030学び合い) ・筑波大学付属坂戸高校 (2030学び合い、関東フォーラム) ・NPO法人元気ネット (2030学び合い) ・上州ぐんまESD実践研究会 (関東フォーラム) ・NPO法人アースライフネットワーク (県域セミナー) ・(一社)自然エネルギー推進機構 (県域セミナー) ・(公財)ふじのくに未来財団 (県域セミナー) ・VISIONARY INSTITUTE (県域セミナー) ・伊豆半島ジオパーク推進協議会 教育部会 (県域セミナー、委員会参画) ・環境パートナーシップちば (ネットワーク参画) 【地域ESD拠点以外】 ・横浜RCEネットワーク ・日本ジオパーク教育WG	・SDGs文化祭を本年度も実施(web開催) 7/18 キックオフ 7/27 大人にプレゼン 8/25 チーム分け 9/26 中間発表 10/31 SDGs文化祭 ・講演等:ネイチャーフェスタ江東(江東区主催)、上州ぐんまESD実践研究会、相模原市教委職員研修、環境再生医療資格認定講習、所沢市市民活動支援センターほか ・相談対応(抜粋):静岡大学、都留文科大学、麻布大学、長泉町 くらし、環境課、茨城県環境政策課、群馬県総合教育センター、文京区教委、静岡県温暖化防止センター、凸版印刷(株)、オアシックス・ラ・大地(株)、(株)アウトソーシング、野村證券(株)、川崎市立平間小学校、八千代市萱田南小学校ほか多数
中部地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月3日(月)	ESD/EPO運営委員会(9名)	①統括:清本三郎、担当責任者:原理史 ②富田夏子、小松朋美	済	済	①EPO・センター合同 ②2021年3月 ③配布部数500部 ④2021年11月に第6期新リーフレット発行、200部配布	①EPOメールマガジン ②1月1回 ③740部	①facebook(当面、主催・関連イベント等のお知らせ投稿のみに限定) ②86人	第1回:6月16日(オンライン) 第2回:2月28日(オンライン)予定	●中部地方ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム「SDGs学生サミット」(予定) 【日時】2022年2月19日(土):10:00~16:30 【開催方法】オンライン 【内容】 第1部【話題提供】地域と若者、SDGsへのアプローチ(学生グループの発表) 第2部【取組紹介】SDGs未来都市の施策と取組について 第3部【ディスカッション】ローカルSDGs達成のためにすべきこと、できること!	●学び合いプロジェクトでセミナー等を実施。連携して(仮)中部版ESDワークブック~学生・社会人のための地域社会SDGs実践)のプロトタイプを作成予定。 ①専門家メンバーによる議論の場の構築 【内容】 【専門家コアメンバーワーキンググループ】の構築とワーキング開催 SDGs社会教育研究ワーキング第1回(クローズ)7月6日<参加者7名> 福井県福井市 SDGs社会教育研究ワーキング第2回(クローズ)9月30日<参加者8名> 富山県高岡市 SDGs社会教育研究ワーキング第3回(クローズ)12月16日<参加者7名> 愛知県名古屋 ②オンラインとリアルによるSDGs社会教育の実践 SDGs社会教育~学び合いの場①(オープン) 8月26日<参加者65名> オンライン SDGs社会教育~学び合いの場②(オープン)9月16日<参加者38名> オンライン 実践活動:SDGs社会教育~実践セミナー(オープン)10月30日<参加者47名(内オンライン23名)> 富山県射水市 ③(仮)中部版ESDワークブック~学生・社会人のための地域社会SDGs実践(プロトタイプ版)作成予定	●「自然資本を活かした人づくり・地域づくり 立山黒部ジオパークESDダイアログ2021~基(もと)い」の学びからどんな力を養うか~」 【日程】2021年11月13日(土)~14日(日) 【場所】立山黒部ジオパーク(富山県) 【内容】 1日目【ESDダイアログ】13:30~16:40 第1部【講演】自然資本とは何か。今問われるESD活用への展開 第2部【話題提供】中部地方のジオパークによるESD活用事例の紹介 第3部【パネルディスカッション】自然資本のESD活用 2日目【エクスカーション】8:30~14:40 立山黒部ジオパークの現地体験と解説(魚津水族館、黒部市吉田科学館、大石石露頭訪問など) 【参加者】 1日目45名(内ライブ視聴8名)、YouTube事後公開/2日目13名	●愛知県発注「愛知環境学習コーディネーター業務」(EPO中部継続業務)として、学校や自治体等が出前講座を行う際の企業・NPO等による講師のコーディネートを実施。

ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況等一覧(2022年1月現在)

資料1

開設	体制基盤	情報基盤・発信	2021年度実施状況									
			委員会	事業	連携							
ESD活動支援センター名称	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称(委員人数) ①実質的センター業務責任者 ②担当窓口	電話回線開設(予定) ウェブサイト用固定IP取得(予定)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合間の別 ②発行日 ③部数 ④増刷(予定)日・増刷部数	メルマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数	SNS活用 ①種別(Facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロワー件数(種別ごと)	第1回日程 第2回日程(あれば第3回日程)	地域フォーラム等	その他主要事業	連携予定の組織・団体、ネットワーク等(文部科学省令和3年度SDGs達成のための担い手育成(ESD)推進事業実施団体との連携含む)	その他特記事項等	
近畿地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月28日(金)	近畿地方ESD活動支援センター企画運営委員会(10名)	①上野浩文(事業統括) ②藤田尚典、中澤敦子	なし(検討予定)	①センター専用 ②2019年3月 ③1,500部 ④予定なし	①きんき環境館 メルマガジンにて近畿ESDセンターからのお知らせを掲載 ②月2回 ③約2,800件	①facebook(きんき環境館と共同アカウント)(10/1より実行) ②11名	第1回 5月14日 第2回 2月3日	○[ESD for 2030]学び合いプロジェクト]近畿分科会「脱炭素型ライフスタイルを促すESD学習プログラムの向上」 ・全8回の分科会活動と、1回の実践活動の実施 ○近畿ESDフォーラム2021年度「ESD for 2030」地域から実践するSDGs～地域資源を教材にして、持続可能な社会に向けて行動する人を育てる～ ・日時:2022年1月22日(土)10:00～16:00 ・形態:対面実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大によりオンラインに変更 ・参加者:第1部80名、第2部45名(1/12申込時点) ・対象:学校関係者、自治体、環境学習施設・社会教育施設等の地域拠点、企業、学校教員を目指す学生等 ・内容:基調講演、地域資源を教育活動に活かして主体間連携を進める実践事例の紹介(3事例)、地域ESD活動推進拠点の取組紹介(2事例)、「ESD for 2030」学び合いプロジェクト]近畿分科会実施報告、ESD-SDGs ワークショップ「本気でつながる ESD～対話から連携～」	○ESD活動に関する相談・支援対応 ○地域センターWebサイトのコンテンツ等の作成、運用等 ○地域でESDを推進する拠点のニーズの把握 ○セパリング2件実施(算国ユネスコ協会、京都市動物園) ・学校教員のESD推進を応援する拠点レポートの形で近畿ESDセンターWebサイト「センターお知らせ」に掲載 ○2府4県4政令市の教育委員会事務局環境教育担当者(主に義務教育担当)および環境部局環境教育担当者への訪問(近畿ESDセンター事業に係る情報共有等) ○地域ESDセンターの活動支援 ○近畿ESDセンター企画運営委員会の開催(年2回) ○全国センター主催連絡会、企画運営委員会への出席、ESD全国フォーラムへの協力	○地域ESD拠点との連携 ・京都府環境保全活動推進協会<近畿分科会活動における実践者として連携> ・近畿ESDコンソーシアム<近畿分科会活動、近畿ESDフォーラム2021年度における講師として連携> ・真備ユネスコ協会<拠点のニーズの把握として取材、活動等についてレポート形式できんき環境館WEBサイトに紹介> ・森と水の清流館<近畿分科会活動における事例発表> ・さすてな京都(京都府環境保全活動推進協会)、公益財団法人淡路環境保全財団、NPO法人アト川崎、かわさき環境学習プロジェクト<近畿分科会活動への参加及び話題提供(希望者制)> ・NPO法人バイオマス丹波産山、NPO法人エコファンふくい分科会参加 ・兵庫県林ふれあい推進センター、公益財団法人淡路環境保全財団<近畿ESDフォーラム2021年度における活動事例発表(希望者制)> ○地域ESD拠点以外の組織・団体との連携 ・京都府動物園<拠点のニーズの把握として取材、活動等についてレポート形式できんき環境館WEBサイトに紹介(予定)> ・大阪府立環境農林水産総合研究所・生物多様性センターおよび長浜市立立見小中学校、奈良市立平城小学校、枚方市環境政策室、大阪府立枚方高等学校 ・近畿ESDフォーラム2021年度実践事例発表 ・奈良町資料館、NPO法人いけだエコスタッフ、パノナ・パノニック、トモエ・エス・エス株式会社(TOMOENI)、ひょうご環境体験館、一般社団法人 ウェルネスインバウンド株式会社<近畿分科会活動における連携>	○近畿分科会活動では、当初予定の5回の勉強会に加え、参加者の希望により2回の追加開催(参加者が実施するESDプログラムのプランニングのための意見交換等)および1回の現地見学(参加者が「運営している拠点」及び現地意見交換会を実施した)。 ○普及啓発の一環として、きんき環境館WEBサイトの事業ブログ「ESDの推進」において、「ESDサポート情報」として、近畿ESDセンター事業等についてブログ形式で紹介。
中国地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	中国地方ESD活動支援企画運営委員会(11名)	①松原裕樹 ②濱長真紀	なし	①EPO・センター合同 ②2017/12/18 ③3,000部 ④予定なし	①メールマガジン(EPO・ESDセンター合同) ②発行日 ③934部	①facebookページ ②285名	第1回 2021年5月28日(金) 第2回 2022年3月4日(木)予定	①ESD学びあいフォーラム「新聞から読みとくSDGs～知る、深める、伝える～」 2021年10月16日(金)@島根県松江市、鳥取県鳥取市 ※両会場オンラインで接続/参加者:24名 ②SDGsビジネスコミュニティ 参加者:18名、参加企業・団体:33社・団体 第1回大学生SDGs勉強会:2021年6月27日(日)@オンライン 第2回大学生SDGs勉強会:2021年7月10日(土)@広島県広島市 企業等への訪問・取材:2021年7～9月 掲載原稿の作成、Webサイト掲載:2021年10月10～11月 ひろしまSDGsフォーラムでの発表:2021年12月3日(金) ③ひろしまSDGsフォーラム 学生実行委員:11名 第1回実行委員会:2021年8月28日(土)@広島県広島市、オンライン併用 第2回実行委員会:2021年9月16日(土)@広島県広島市、オンライン併用 第3回実行委員会:2021年11月13日(土)@広島県広島市 運営・企画チーム活動:2021年10～12月 フォーラム:2021年12月3日(金)@広島市/参加者:56名	④ひろしまSDGs交流会 第11回:2021年4月22日(木)@広島県広島市、オンライン併用/参加者:17名 第12回:2021年5月31日(月)@オンライン/参加者:21名 第13回:2021年6月24日(木)@広島県広島市、オンライン併用/参加者:21名 第14回:2021年7月21日(水)@広島県広島市、オンライン併用/参加者:16名 第15回:2021年9月22日(水)@広島県広島市、オンライン併用/参加者:14名 第16回:2021年10月18日(月)@広島県広島市、オンライン併用/参加者:7名 第17回:2021年11月25日(木)@広島県広島市、オンライン併用/参加者:14名 ⑤ESD学びあいプロジェクト「津和野高校新館改修プロジェクト」は別途報告。 ・相談対応/2021年4～12月:102件 ⑥その他 ・相談対応/2021年4～12月:102件 ・情報収集、発信 ・地域ESD拠点の登録支援 ・地域ESD拠点の活動支援(島根県しましめ海洋館アクアス、山口県ひとづくり財団等) ・その他、ESD関連イベント・会議等への出席	中国5県の中間支援組織(NPO支援センター、環境学習センター、温暖化防止活動推進センター等)/広島県/JICA中国/国立広島青少年交流の家/広島SDGsコンソーシアム/学校法人鶴岡学園/安田女子大学/広島経済大学/広島修道大学/徳島女子高等学校/広島県立安西高等学校/広島市立立見中学校/広島県立大洲中学校/広島市立道徳中学校/北広島町立大朝中学校/東広島市河内町生道学習センター/広島市立安佐南区公民館ネットワーク/山陰中央新報社/新日本海新聞社/山陽新聞社/中国新聞社/朝日新聞社(CSR推進部)/日本NIE学会/広島県NIE推進協議会/一般社団法人one dream/HIROSHIMA FACTORY/NGO FEST-HIROSHIMA/一般社団法人みちしるべ	①四国地方ESDセンターとの連携 ・第1回四国地方ESD活動支援センター運営委員会出席(2021年6月17日(木)) ・第2回四国地方ESD活動支援センター運営委員会(2021年3月予定)
四国地方ESD活動支援センター	①平成29年7月1日(土) ②平成29年7月3日(月)	四国ESD活動支援センター運営委員会(11名)	○センター長:近森憲助 ①統括:竹内よし子 ②事務局長:宇賀神幸恵、事務局:長野直子、矢野雅彦	なし	①センター専用 ②平成29年10月より印刷開始 ③7,000部 ④予定なし	①センター専用 ②月1回発行(平成29年11月より開始) ③633件(四国EPOフォーア)	①facebook(四国EPOのアカウントで投稿) ②633件(四国EPOフォーア)	第1回 6月17日(木) 第2回 2～3月予定	・ESDセンター分科会勉強会 全3回(ESDバーチャル大学第1回、4回、6回が該当) ・ESD全国フォーラム 12月11日(土) ・四国ESDフォーラム2022 3月6日(日)予定	・新居浜市教育委員会・ESD推進事業協議会 ・宇和島NPOセンターとの連携(企画運営アドバイザー) ・松山市(SDGs連携) ・愛大・ESDラボ(愛媛大学) ・日本ESD学会 ・四国四県の大学 ・ローカルSDGs四国(LS四国)との連携による分科会活動 ・その他地域ESD拠点との連携、活動支援	・RNC西日本放送ラジオ出演(月1回)による情報提供 ・香川型教育メソッド研究会参画(研究会への参加、学校視察、アドバイザー) ・講師協力(香川県内大学2件、高専1件、高校5件、中学校1件、小学校3件) ・香川県高校探求発表会(助言、アドバイザー) ・中国四国ESDセンター協働・相互参照(イベント相互視察、運営委員会出席)	
九州地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	九州地方ESD活動支援センター企画運営委員会(EPO九州運営委員会の分科会)	①澤 克彦 ②藤家 伸 ③長崎 秀幸、坂本 紀子、佐藤 直哉	なし	①EPO・センター兼用 ②R3.30 ③4,000部	①EPO九州メルマガの一部 ②月2回発行 ③655件	①Facebook ②561 ①Instagram ②121	第1回6月3日 第2回2月22日予定	地域学び合いフォーラム: 大分ESDフォーラム(大分県大分市)2022年1月28日開催予定。 島しよ地域、自然拠点関係者との対話の場を経て、左記フォーラムにおいて計画を提示し、多様な主体を交えた意見交換を行う。 以上の経過を経て第二回企画運営委員会に報告する。 ・大分ESDミーティング(2回)の開催。 ・自然体験施設、ビジターセンター、ESD拠点の意見交換会 ・島しよ地域ESD関係者の意見交換会	●九州沖縄地域ESD推進計画(仮称)の策定 担当官協議の上、企画運営委員会に計画を提案。 島しよ地域、自然拠点関係者との対話の場を経て、左記フォーラムにおいて計画を提示し、多様な主体を交えた意見交換を行う。 以上の経過を経て第二回企画運営委員会に報告する。	●全国センターフォーラム分科会 ・熊本市立城南中学校 ・熊本教育委員会 ・地域内ESD有識者 ・地域コーディネーター ・地域ESD拠点 ●地域ESD実践者 ・大牟田市教育委員会 ・地域高等学校関係者及びユース(SDGs研修等) ・地域ESD拠点 ・ビジターセンター等自然体験施設	●各学校現場における相談対応、研修対応等。 九州地域の小学校1校、高等学校5校の教員、生徒への研修対応 (大分県玖珠町八幡小、山都町教育委員会、熊本県立戸北高校、長崎県立五島高校、熊本県立第一高校、熊本県立菊池農業、国際クラーク学園) ●九州管内国立講演ビジターセンター研修対応 2施設の職員に対しESDの視点について情報提供 ●自治体の環境学習指導者養成講座の対応 参加者に対しESDの視点について情報提供
ESD活動支援センター(全国センター)	①②平成28年4月22日(金)	ESD活動支援企画運営委員会(11名)	①大西亮真 ②川村研治	なし	①センター専用 ④増刷予定なし	なし	①Facebook ②851 ①Twitter ②222	第1回 6月22日(火) 第2回 2月17日(木)	●ESD推進ネットワーク全国フォーラム2021 【開催日】2021年12月11日(土) 【会場】オンライン 【参加者数】延べ478名 【プログラム】 ・基調報告(文部科学省、環境省) ・パネルディスカッション「脱炭素時代に求められるESDネットワークの姿とは」 ・分科会「ESD for 2030学び合いプロジェクト」の挑戦 ・全体総括	●ESD活動に関する相談・支援 ●ESD活動に関する国内外の情報収集・発信 ●ESD推進ネットワークの形成・強化支援、可視化(地域ESD拠点の登録事務連絡調整(通年)、年次アンケート調査等) ●各規模のESD推進団体との協力関係構築 ●ESD関連行事への後援(通年) ●ESD推進ネットワークを活用した体験の機会の拡充 ●地域循環共生圏の担い手となる人づくりへの対応 ●ネットワーク可視化タスクフォースの運営 ●ESD活動支援センター(全国・地方)の連絡・調整		